



## カルビーグループ決算説明会

2022年3月期第3四半期

2021年4月1日～2021年12月31日

TSE code : 2229

カルビー株式会社

2022.2.1

## **1. 2022年3月期第3四半期業績報告**

## **2. 2022年3月期通期計画修正**

1

菊地でございます。

本日は2022年3月期、第3四半期業績について御報告し、  
その後に2022年3月期、通期計画の修正について、ご説明します。

## 【再掲】

2022年3月期第1四半期の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等の適用により、これまで販売管理費に計上していた一部の販売費（リベート等）を売上高から控除しております。

総売上高・・・一部の販売費を控除する前の売上高

純売上高・・・一部の販売費を控除した後の売上高

この変更に関する本資料における取扱いは以下のとおりです。

|                          | 2022年3月期<br>第3四半期    | 2021年3月期<br>第3四半期  |
|--------------------------|----------------------|--------------------|
| 総売上高<br>製品別売上高<br>地域別売上高 | 従来どおり                | 従来どおり              |
| リベート等控除                  | 総売上高から控除する<br>一部の販売費 | なし<br>(販売管理費に含まれる) |
| 純売上高                     | 総売上高から<br>一部の販売費を控除  | なし                 |
| 営業利益                     | 従来どおり                | 従来どおり              |
| 営業利益率                    | 総売上高を分母として計算         | 総売上高を分母として計算       |

スライド2は過去の決算説明会の再掲ですので  
説明は割愛させていただきます。

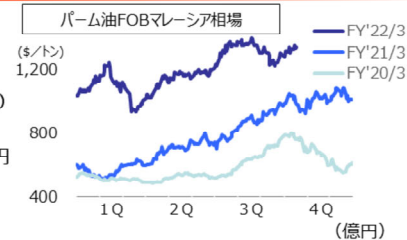
## 2022年3月期第3四半期業績（3か月）

握りだそう、自然の力。

**Calbee**

### 決算サマリ（3か月）

- **総売上高** 海外好調により増収
- **営業利益** 国内、海外いずれも原材料価格および動力費の高騰をカバーできず減益  
高騰影響(対前年) 国内:△15億円、海外:△5億円
- **当期純利益** 為替差益等あったものの  
営業利益の減少に伴い減益



|                 | 2022年3月期<br>第3四半期実績 | 2021年3月期<br>第3四半期実績 | 伸び率            | 2022年3月期<br>第3四半期計画 | 計画比            |
|-----------------|---------------------|---------------------|----------------|---------------------|----------------|
| <b>総売上高</b>     | <b>736</b>          | <b>703</b>          | <b>+4.8%</b>   | <b>727</b>          | <b>101.3%</b>  |
| 純売上高            | 650                 | —                   | —              | 635                 | 102.4%         |
| <b>国内総売上高</b>   | <b>566</b>          | <b>568</b>          | <b>△0.3%</b>   | <b>567</b>          | <b>99.8%</b>   |
| 純売上高            | 498                 | —                   | —              | 496                 | 100.4%         |
| <b>海外総売上高</b>   | <b>170</b>          | <b>135</b>          | <b>+26.2%</b>  | <b>160</b>          | <b>106.4%</b>  |
| 純売上高            | 152                 | —                   | —              | 139                 | 109.3%         |
| <b>営業利益</b>     | <b>76</b>           | <b>88</b>           | <b>△14.1%</b>  | <b>90</b>           | <b>84.3%</b>   |
| 営業利益率（対総売上高）    | ※1 <b>10.3%</b>     | <b>12.6%</b>        | <b>△2.3pts</b> | <b>12.4%</b>        | <b>△2.1pts</b> |
| 国内              | 72                  | 81                  | △12.0%         | 79                  | 90.6%          |
| 海外              | 4                   | 7                   | △38.9%         | 11                  | 38.3%          |
| <b>経常利益</b>     | <b>80</b>           | <b>87</b>           | <b>△7.6%</b>   | <b>89</b>           | <b>90.0%</b>   |
| 特別損益            | 3                   | △1                  | —              | △1                  | —              |
| <b>当期純利益</b> ※2 | <b>55</b>           | <b>58</b>           | <b>△5.2%</b>   | <b>58</b>           | <b>95.2%</b>   |

※1 営業利益率（対純売上高）は 11.7%

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

3

スライド3をご覧ください。

2022年3月期、第3四半期3か月の連結業績についてご説明します。

総売上高は前年と計画いずれも上回りましたが、  
営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも下回りました。

総売上高は、前年比4.8%増の736億円となりました。  
国内は、馬鈴薯収量減の影響などにより、前年比0.3%減の566億円、  
海外は、主要4地域いずれも好調であったことにより、  
前年比26.2%増の170億円となりました。

営業利益は、前年比14.1%減の76億円となりました。  
国内、海外いずれも原材料価格および動力費の高騰影響をカバーできず、  
国内は前年比12.0%減の72億円、  
海外は前年比38.9%減の4億円となりました。

当期純利益につきましては、為替差益の計上などがあったものの、  
営業利益の減少に伴い、前年比5.2%減の55億円となりました。

## 2022年3月期第3四半期業績 国内事業（3か月）

握りだそう、自然の力。  
**Calbee**

- **総売上高** 中国向けシリアルの商流変更影響を除く実質ベースでは増収  
 <スナック> ばれいしょ収量減の影響でポテトチップスが減収となったものの  
 新価値商品・その他スナックに販売注力し、前年並み  
 <シリアル国内消費向け> 「糖質オフ」好調も、競合オートミールの伸長を受け、前年並み  
 <シリアル海外輸出> 商流変更（中国子会社への売上移管）による減収△6億円  
 <その他> 甘しょ事業が拡大
- **営業利益** 販売費の改善はあったものの、原材料価格および動力費の高騰（△15億円）により減益

|                     |               | 2022年3月期第3四半期 |         |        | (億円) |
|---------------------|---------------|---------------|---------|--------|------|
|                     |               |               | 前年同期比   |        |      |
| 国内総売上高              |               | 566           | △2      | △0.3%  |      |
| スナック                |               | 472           | △0      | △0.1%  |      |
|                     | ポテトチップス       | 230           | △14     | △5.7%  |      |
|                     | じゃがりこ         | 91            | +1      | +1.3%  |      |
|                     | 新価値商品・その他スナック | 151           | +12     | +8.8%  |      |
| シリアル（国内消費向け）        |               | 55            | △0      | △0.4%  |      |
| シリアル（海外輸出）          |               | 3             | △5      | △68.0% |      |
| その他（甘しょ・ばれいしょ・役務提供） |               | 37            | +4      | +13.3% |      |
| リポート等控除             |               | △68           | －       | －      |      |
| 国内営業利益              |               | 72            | △10     | △12.0% |      |
| 営業利益率               |               | ※ 12.7%       | △1.7pts | －      |      |

※営業利益率（対純売上高）は14.4%

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

4

スライド4をご覧ください。

国内事業の業績について、ご説明します。

総売上高は、

中国向けシリアルの商流変更影響6億円を除く実質ベースではわずかに増収となりましたが、前年比0.3%減の566億円となりました。

スナックは、ポテトチップスが減収となったものの、

その他のスナックに販売注力し、全体では前年並みとなりました。

国内シリアルは、競合オートミールが伸長し、前年並み、

一方、海外輸出は、中国子会社への商流変更により減収となりました。

その他事業につきましては、甘しょ事業の拡大により4億円の増収となりました。

営業利益は、

原材料価格および動力費の高騰15億円をカバーできず、

前年比12.0%減の72億円、

営業利益率は前年比1.7ポイント悪化し、12.7%となりました。

## 2022年3月期第3四半期業績 国内事業 （3か月）

握りだそう、自然の力。  
**Calbee**

### スナック

ポテトチップス・じゃがりこ：

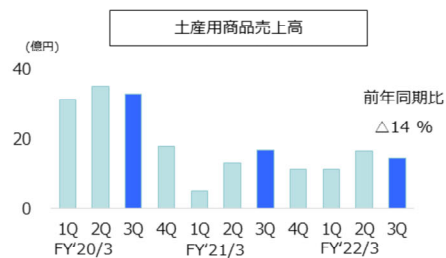
北海道産ばれいしょの収量減を受けて、一部製品を発売中止・延期  
(対前年：ポテトチップス△14億円、じゃがりこ+1億円)

新価値商品・その他スナック：

「miino」の好調継続

「絶品かつぱえびせん」等の高付加価値商品の新フレーバー投入により増収

土産用商品は、物産展・一般チャネルでの販売を実施するも、  
前年の Go To トラベル事業による需要増に届かず減収



Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

5

スライド5をご覧ください。

国内事業の製品別状況について、少し詳しくご説明します。

ポテトチップスとじゃがりこにつきましては、  
北海道産ばれいしょの収量減少を受けて  
ポテトチップスは、14億円の減収、  
じゃがりこは、味替わり品の販売が伸びたこともあり、1億円の増収となりました。

新価値商品・その他スナックにつきましては、  
豆系スナック「ミーノ」が引き続き好調に推移、  
また、「絶品かつぱえびせん」等の高付加価値商品に新フレーバーを投入し、  
増収となりました。

一方、土産用商品は、  
物産展や一般チャネルの催事エリアへの販売を強化したものの、  
前年に実施されたGo To トラベル事業による需要増には届かず、  
減収となりました。

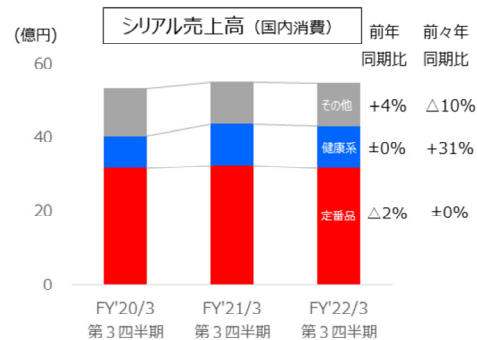


## 2022年3月期第3四半期業績 国内事業（3か月）

握りだそう、自然の力。  
**Calbee**

### シリアル

- 規格改定を実施  
大容量製品の内容量減  
中容量製品のラインナップ拡充
- 健康訴求系「糖質オフ」の好調継続（前年比+15%）
- 全体としては前年並み（競合オートミールが伸長）



### その他

甘しょ事業：仕入れ量を拡大し、卸販売、直営店舗販売およびE C販売がいずれも好調



かいつかオリジナルブランド  
『紅天使』



蔵出し焼き芋かいつか  
ギフトセット

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

6

スライド6をご覧ください。

シリアルは、

健康を訴求する「フルグラ糖質オフ」が前年比+15%と好調でしたが、シリアル全体としては競合のオートミールが伸長したこともあり、前年並みとなりました。

その他につきましては、甘しょ事業において、

焼き芋のオリジナルブランドである「紅天使」が、卸販売、直営店舗販売およびEC販売いずれも好調で、増収となりました。

# 2022年3月期第3四半期業績 海外事業（3か月）

握りだそう、自然の力。

**Calbee**

(億円)

| <地域別実績>       | 2022年3月期第3四半期 |             |               |                 |
|---------------|---------------|-------------|---------------|-----------------|
|               |               | 前年同期比       |               | 為替影響除く<br>実質伸び率 |
| <b>海外総売上高</b> | <b>170</b>    | <b>+35</b>  | <b>+26.2%</b> | <b>+15.6%</b>   |
| 北米            | 39            | +6          | +16.6%        | +6.9%           |
| 中華圏           | 58            | +19         | +48.3%        | +33.0%          |
| 英国            | 21            | +5          | +29.4%        | +15.3%          |
| インドネシア        | 16            | +6          | +57.0%        | +45.1%          |
| その他           | 36            | +0          | +0.9%         | △3.6%           |
| リベート等控除       | △18           | —           | —             | —               |
| <b>海外営業利益</b> | <b>4.2</b>    | <b>△2.7</b> | <b>△38.9%</b> | <b>—</b>        |
| 営業利益率         | ※ 2.5%        | △2.6pts     | —             | —               |
| 北米            | △1.2          | △4.2        | —             | —               |
| 中華圏           | 2.4           | +2.0        | +468.6%       | —               |
| 英国            | 0.3           | △0.4        | △55.0%        | —               |
| インドネシア        | △0.2          | +0.6        | —             | —               |
| その他           | 2.9           | △0.6        | △17.9%        | —               |
| <製品別総売上高実績>   |               |             |               |                 |
| スナック          | 145           | +28         | +23.8%        | —               |
| シリアル          | 26            | +8          | +42.1%        | —               |

※営業利益率（対純売上高）は 2.7%

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

7

スライド7をご覧ください。

海外事業の業績についてご説明します。

総売上高は170億円となり、前年比26.2%の増収、  
為替の影響を除く現地通貨ベースにおいても、15.6%の増収となりました。

営業利益は、原材料価格の高騰などにより、  
前年比38.9%減少し、4.2億円となりました。



## 2022年3月期第3四半期業績 海外事業 (3か月)

握りだそう、自然の力。  
**Calbee**

### 北米

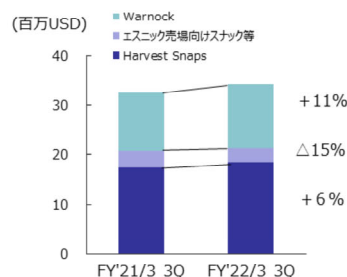
#### ■売上

- ・「Harvest Snaps」は、ダラーストア業態等が伸長
- ・エスニック売場向けスナックは、コンテナ不足の影響を受け減収
- ・WarnockはPBが伸長、OEMは苦戦

#### ■営業利益

- ・原材料費率および労務費率の上昇により減益

北米 売上高 (前年同期比+7%)



### 中華圏

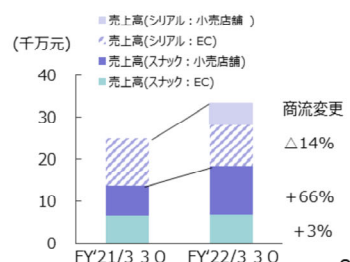
#### ■売上

- ・スナックは、「Jagabee」や「Honey Butter Chip」がEC・小売店舗向けともに好調
- ・シリアルEC向けは、前年巣ごもりの反動減の影響で減収、小売店舗向けは、商流移管の遅れが解消し、計画達成

#### ■営業利益

- ・増収効果により増益

中華圏 売上高 (前年同期比+33%)



Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

8

スライド8をご覧ください。地域別に少し詳しくご説明します。

北米の売上高は、現地通貨ベースで前年比7%増となりました。

「Harvest Snaps」は、ダラーストア業態への小容量・低価格帯商品の配荷拡大に成功し、増収となりました。

一方、エスニック売場向けスナックは、海上輸送コンテナ不足の影響を受け、減収となりました。

営業利益は、原材料費率及び労務費率上昇の影響により、前年同期比4.2億円の減益となりました。

中華圏の売上高は、現地通貨ベースで前年比33%増となりました。

スナックは「Jagabee」や「Honey Butter Chip」が引き続き好調でEコマース・小売店舗向けともに伸長しました。

シリアルEC向けは、前年巣ごもりの反動減の影響で減収となりましたが、小売店舗向けは上期に発生していた商流移管の遅れが解消し、計画を達成しました。

営業利益は、増収効果により、前年同期比2億円増の2.4億円となりました。

## 2022年3月期第3四半期業績 海外事業（3か月）

握りだそう、自然の力。  
**Calbee**

### 英国

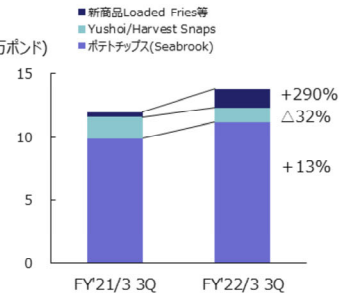
#### ■売上

- ・ポテトチップスは、配荷エリア拡大およびプロモーション投下により伸長（百万ポンド）
- ・スナックは、Seabrookブランドの「Loaded Fries」「Loaded Bites」  
大手流通への配荷開始等により増収

#### ■営業利益

- ・原材料価格（食油、包材等）の高騰により減益

英国 売上高（前年同期比+15%）



### インドネシア

#### ■売上

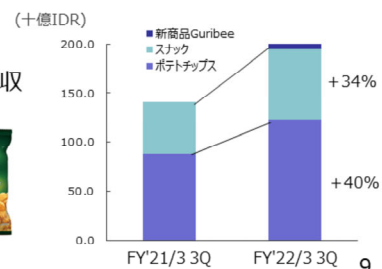
- ・ポテトチップスは、競合撤退に伴いプロモーションを積極投下し伸長
- ・スナックは「Krisbee」および新食感商品「Guribee」の堅調により増収

#### ■営業利益

増収効果により赤字縮小



インドネシア 売上高（前年同期比+45%）



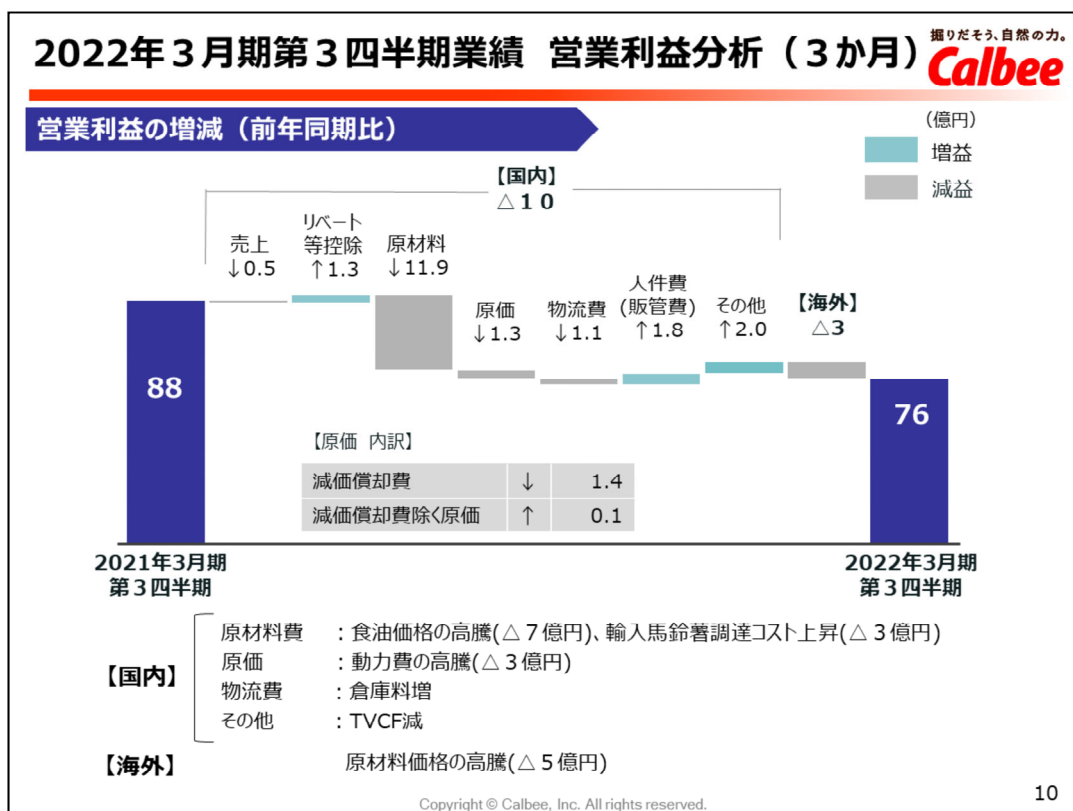
Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

スライド9をご覧ください。

英国の売上高は現地通貨ベースで前年比15%増となりました。  
主力のポテトチップスは、配荷エリア拡大により伸長し、  
スナックは、Seabrookブランド「Loaded Fries」「Loaded Bites」の  
大手流通への配荷開始等により、増収となりました。  
営業利益は、食油・包材等の原材料価格の高騰により  
前年同期比0.4億円の減益となりました。

インドネシアの売上高は現地通貨ベースで前年比45.1%増となりました。  
ポテトチップスは競合撤退に伴い、プロモーションを積極的に投下し、  
大幅に伸長しました。  
スナックは、「Krisbee」及び新食感商品「Guribee」の堅調により増収となりました。

営業損失は増収効果により縮小し、0.2億円となりました。



スライド10をご覧ください。

営業利益分析ですが、  
連結全体では76億円、前年同期比12億円の減益となりました。

国内は食油など原材料価格の高騰12億円、動力費の高騰3億円を  
カバーできず、マイナス10億円、  
海外は、原材料価格の高騰5億円により、マイナス3億円となりました。

## 2022年3月期第3四半期業績（9か月）

握りだそう、自然の力。  
**Calbee**

（億円）

|              | 2022年3月期<br>第3四半期実績 | 2021年3月期<br>第3四半期実績 | 伸び率     | 2022年3月期<br>第3四半期計画 | 計画比     |
|--------------|---------------------|---------------------|---------|---------------------|---------|
| 総売上高         | 2,098               | 2,012               | +4.3%   | 2,072               | 101.3%  |
| 純売上高         | 1,855               | —                   | —       | 1,818               | 102.0%  |
| 国内総売上高       | 1,623               | 1,610               | +0.8%   | 1,614               | 100.6%  |
| 純売上高         | 1,433               | —                   | —       | 1,419               | 101.0%  |
| 海外総売上高       | 475                 | 402                 | +18.3%  | 458                 | 103.7%  |
| 純売上高         | 422                 | —                   | —       | 399                 | 105.7%  |
| 営業利益         | 209                 | 218                 | △4.4%   | 223                 | 93.7%   |
| 営業利益率（対総売上高） | ※1 10.0%            | 10.9%               | △0.9pts | 10.8%               | △0.8pts |
| 国内           | 194                 | 195                 | △0.8%   | 198                 | 98.0%   |
| 海外           | 15                  | 23                  | △34.7%  | 25                  | 59.9%   |
| 経常利益         | 216                 | 214                 | +0.8%   | 219                 | 98.4%   |
| 特別損益         | 1                   | △2                  | —       | △4                  | —       |
| 当期純利益 ※2     | 147                 | 140                 | +4.7%   | 143                 | 102.8%  |

※1 営業利益率（対純売上高）は 11.3%

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

11

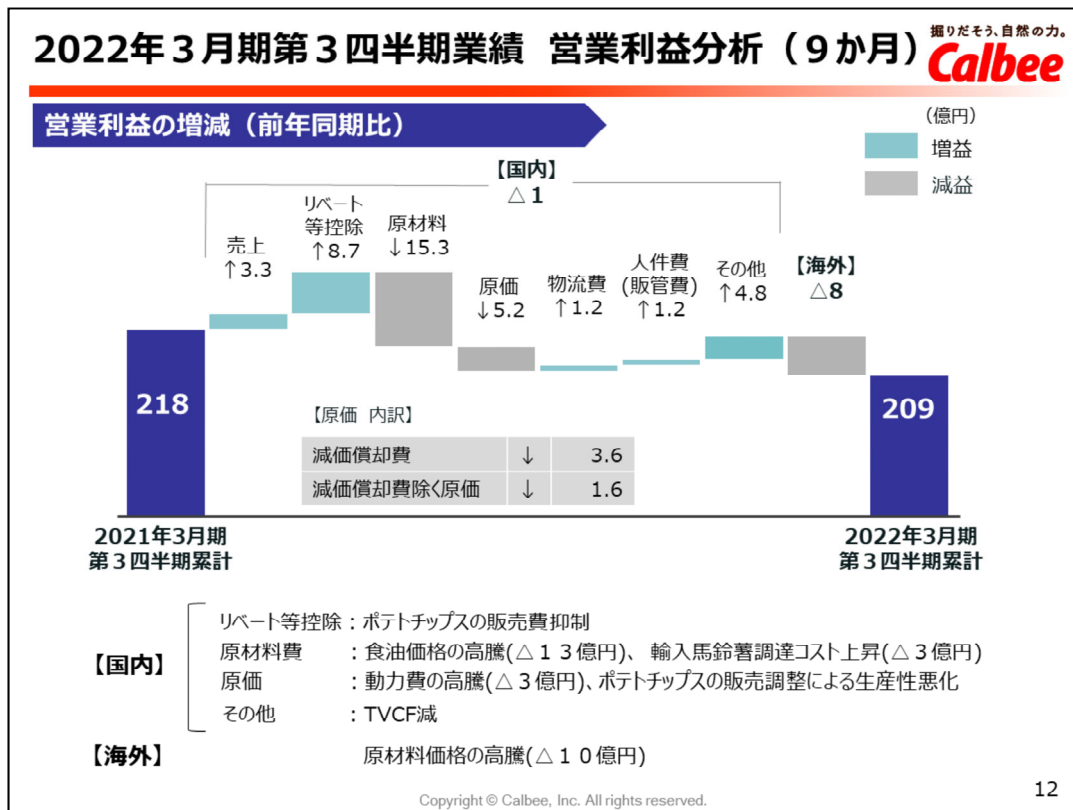
スライド11をご覧ください。

2022年3月期、第3四半期累計9か月の連結業績になります。

総売上は国内海外いずれも、前年・計画を上回りました。

営業利益は原材料価格および動力費の高騰影響が大きく、前年・計画いずれも下回りました。

当期純利益につきましては、為替差益の計上等により、前年・計画いずれも上回りました。



スライド12をご覧ください。

営業利益分析ですが、  
連結全体では209億円、前年比9億円の減益で、  
内訳は国内でマイナス1億円、海外でマイナス8億円です。

国内事業の増減要因についてはご覧のとおりです。

**1. 2022年3月期第3四半期業績報告**

**2. 2022年3月期通期計画修正**



## 2022年3月期通期計画修正

握りだそう、自然の力。

**Calbee**

### 修正計画サマリ

想定を上回る原材料価格および動力費の高騰を鑑み、

期初計画から営業利益△25億円、経常利益△15億円、当期純利益△5億円の下方修正

◆ 通期の高騰影響見込み（対期初計画）・・・国内△29億円、海外△14億円）

◆ 第4四半期のアクション

- ・国内外スナックの規格改定を実施
- ・製造経費、販管費を抑制

(億円)

|                | 2022年3月期<br>通期計画 (期初) | 2022年3月期<br>通期計画 (修正) | 修正額<br>(vs期初計画) |
|----------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|
| <b>総売上高</b>    | <b>2,750</b>          | <b>2,760</b>          | <b>+10</b>      |
| 純売上高           | 2,400                 | 2,430                 | +30             |
| <b>国内総売上高</b>  | <b>2,146</b>          | <b>2,125</b>          | <b>△21</b>      |
| 純売上高           | 1,873                 | 1,867                 | △6              |
| <b>海外総売上高</b>  | <b>604</b>            | <b>635</b>            | <b>+31</b>      |
| 純売上高           | 527                   | 563                   | +36             |
| <b>営業利益</b>    | <b>280</b>            | <b>255</b>            | <b>△25</b>      |
| 営業利益率（対総売上高）   | 10.2%                 | 9.2%                  | -               |
| 国内             | 247                   | 233                   | △14             |
| 海外             | 33                    | 22                    | △11             |
| <b>経常利益</b>    | <b>275</b>            | <b>260</b>            | <b>△15</b>      |
| 特別損益           | △5                    | 0                     | +5              |
| <b>当期純利益 ※</b> | <b>180</b>            | <b>175</b>            | <b>△5</b>       |

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

14

スライド14をご覧ください。

続いて、通期計画の修正について、ご説明します。

第3四半期までの業績、足元の業績動向や市場環境等を鑑み  
2022年3月期通期の計画を修正いたします。

総売上高は、国内ばれいしょ収量減によるマイナスと  
海外のウワブレ継続を反映し、期初計画から10億円の上方修正、  
2760億円といたしました。

営業利益については、  
想定を大きく上回る原材料価格および動力費の高騰を鑑み  
期初計画から25億円の下方修正、255億円といたしました。  
これに伴い、経常利益は15億円、当期純利益は5億円の下方修正といたしました。

高騰影響を最小限に抑えるために、第4四半期のアクションとして、  
国内海外いずれにおいてもスナックの規格改定を実施していくことに加え、  
製造経費や販管費の抑制していく計画です。

以上でご説明を終了いたします。ありがとうございました。

## 参考資料

## 連結損益計算書

握りだそう、自然の力。

**Calbee**

(百万円)

|         | 2022年3月期 第3四半期 (3か月) |            |              |              | 2022年3月期 第3四半期 (9か月) |            |              |              |
|---------|----------------------|------------|--------------|--------------|----------------------|------------|--------------|--------------|
|         |                      | 構成比<br>(%) | 前年同期比<br>(%) | 期初計画比<br>(%) |                      | 構成比<br>(%) | 前年同期比<br>(%) | 期初計画比<br>(%) |
| 総売上高    | 73,630               | 100.0      | +4.8         | 101.3        | 209,823              | 100.0      | +4.3         | 101.3        |
| リベート等控除 | 8,600                | 11.7       | —            | 93.7         | 24,352               | 11.6       | —            | 95.8         |
| 純売上高    | 65,029               | 88.3       | —            | 102.4        | 185,470              | 88.4       | —            | 102.0        |
| 売上総利益   | 22,710               | 30.8       | —            | 93.6         | 64,800               | 30.9       | —            | 96.8         |
| 販売管理費   | 15,127               | 20.5       | —            | 99.1         | 43,914               | 20.9       | —            | 98.4         |
| 販売費     | 2,269                | 3.1        | —            | 110.2        | 6,244                | 3.0        | —            | 99.0         |
| 物流費     | 5,255                | 7.1        | +6.6         | 100.9        | 14,920               | 7.1        | +2.5         | 100.8        |
| 人件費     | 4,780                | 6.5        | △2.9         | 93.0         | 14,557               | 6.9        | +1.1         | 97.2         |
| その他経費   | 2,821                | 3.8        | +5.4         | 98.7         | 8,191                | 3.9        | +3.2         | 95.7         |
| 営業利益    | 7,583                | 10.3       | △14.1        | 84.3         | 20,885               | 10.0       | △4.4         | 93.7         |
| 経常利益    | 7,996                | 10.9       | △7.6         | 90.0         | 21,570               | 10.3       | +0.8         | 98.4         |
| 特別損益    | 310                  | —          | —            | —            | 146                  | —          | —            | —            |
| 当期純利益 ※ | 5,523                | 7.5        | △5.2         | 95.2         | 14,701               | 7.0        | +4.7         | 102.8        |

※親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

16

# 連結損益計算書 2022年3月期通期計画修正

握りだそう、自然の力。  
**Calbee**

(百万円)

|         | 2021年3月期 |            | 2022年3月期<br>(期初計画) |            | 2022年3月期<br>(修正計画) |            |
|---------|----------|------------|--------------------|------------|--------------------|------------|
|         |          | 構成比<br>(%) |                    | 構成比<br>(%) |                    | 構成比<br>(%) |
| 総売上高    | 266,745  | 100.0      | 275,000            | 100.0      | 276,000            | 100.0      |
| リポート等控除 | -        | -          | 35,000             | 12.7       | 33,000             | 12.0       |
| 純売上高    | -        | -          | 240,000            | 87.3       | 243,000            | 88.0       |
| 売上総利益   | 117,810  | 44.2       | 87,800             | 31.9       | 84,300             | 30.5       |
| 販売管理費   | 90,746   | 34.0       | 59,800             | 21.7       | 58,800             | 21.3       |
| 販売費     | 41,566   | 15.6       | 8,400              | 3.1        | 8,300              | 3.0        |
| 物流費     | 19,247   | 7.2        | 19,800             | 7.2        | 19,700             | 7.1        |
| 人件費     | 19,321   | 7.2        | 20,100             | 7.3        | 19,700             | 7.1        |
| その他経費   | 10,610   | 4.0        | 11,500             | 4.2        | 11,100             | 4.0        |
| 営業利益    | 27,064   | 10.1       | 28,000             | 10.2       | 25,500             | 9.2        |
| 経常利益    | 27,522   | 10.3       | 27,500             | 10.0       | 26,000             | 9.4        |
| 特別損益    | △1,140   | -          | △500               | -          | 0                  | -          |
| 当期純利益   | 17,682   | 6.6        | 18,000             | 6.5        | 17,500             | 6.3        |

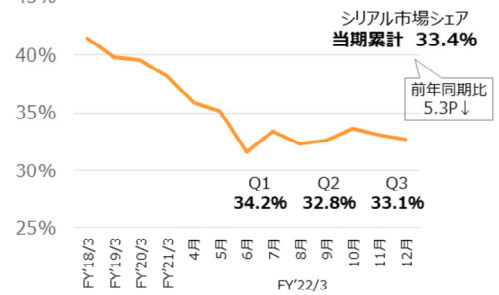
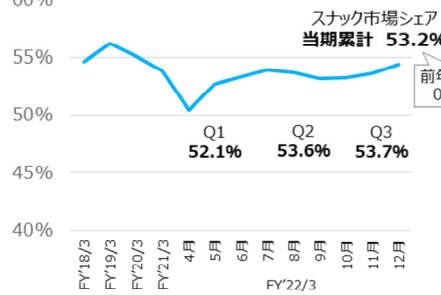
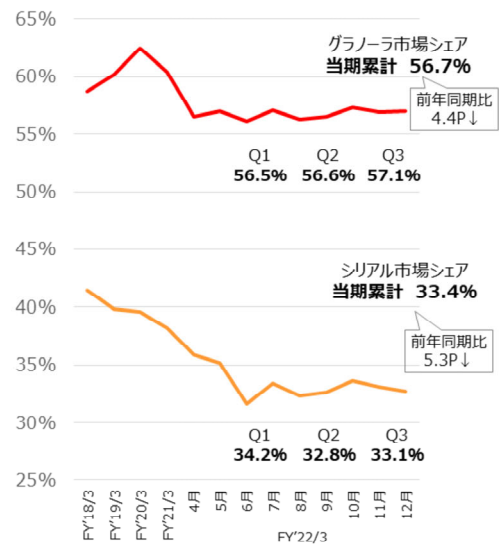
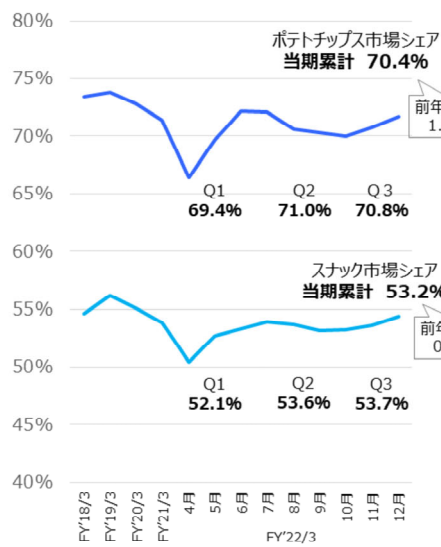
Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

17

# 国内市場シェア

握りだそう、自然の力。

**Calbee**



出所：興インテージSRI+ 全国全業態 金額ベース  
2021年3月期より興インテージSRI+の設計・推計方法が変更されたため、2020年3月期以前の数値を新推計方法に基づき修正しています。

当期累計：2021年4月～2021年12月  
前年同期：2020年4月～2020年12月  
FY'18/3-FY'22/3：2017年4月～2021年12月

スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計  
ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル煮、非公開PB含む  
グラノーラ市場：シリアル市場・グラノーラカテゴリー

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR課

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2022/3(FY'22/3)は2022年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

2022 年 2 月 1 日開催  
2022 年 3 月期第 3 四半期決算説明会での主な質疑応答

【コストアップへの対応について】

**Q1 想定以上のコストアップが起きているが、今年1月の価格・規格改定で、来期以降のコストアップをカバーできるのか。**

コストアップのペースが急速に上がっているため、来期も今期に比べ原材料価格は上がっていくだろうという見通しを持っている。1 月実施の価格・規格改定については、今年度の値上がり分は販売数量が戻ればカバーできるレベルだが、来期の上昇に対してはアクションが必要。さらなる値上げを含め、とるべきアクションについて検討を始めている。

**Q2 今期のコストアップ影響額を教えてください。**

国内(食油 20 億円、輸入ばれいしょ 7 億円、動力費 6 億円)は 35 億円、海外は 15 億円。  
輸入ばれいしょは、円安に加え輸送費が上昇。

【今期業績見通しについて】

**Q3 3Q の販促費の削減が物足りないと感じる。来期以降の見方を教えてください。**

前期は巣ごもり需要で販促しなくても売れたが、今期は販促しないとモメンタムをキープできないマーケット環境である。来期は、原材料高をカバーするために削減を進めなければならないが、削減余地は少なく、マーケット環境をみながら、臨機応変にコントロールする方針。

**Q4 4Q 国内事業が減益になる要因は？**

原材料価格高騰影響が 16 億円、加えてばれいしょ不足により売上が減速するとみている。

【海外事業について】

**Q5 海外の価格改定状況について教えてください。**

欧米は価格改定が受け入れられやすいマーケットなので、2022 年 1 月より実施している。アジアは日本同様価格感応度が高いので、欧米より慎重に進めており、交渉をスタートしている。どの国も、原材料価格が上がった分は価格・規格改定でカバーするスタンスである。

**Q6 海外事業の売上が好調だが、持続性はあるか。**

インドネシアにおいては競合撤退、英国での競合トラブルなどラッキーな外部要因や円安効果もあっての好調なので、今の成長率を維持できるとはみていないが、引き続き強い需要はあるとみている。

**Q7 インドネシアの好調は競合の撤退によるものか。**

競合との価格競争はだいぶ緩和され、環境はよくなっている。また、これまでは、市場シェアをとるために原価率が高くても売れる商品で展開してきたが、いまは、利益を意識し、収益性の高い商品構成になっている。稼働率が上がり、原価低減活動も効果が出てきており、少しずつではあるが、改善の道筋はついてきたと思っている。

【来期以降の業績見通しについて】

**Q8 来期、あるいは 2-3 年後の利益の目線、見通しについて教えてください。**

今起きている原材料高騰が、新型コロナウイルス感染拡大に伴うものなのか、構造的な需給環境の変化に伴うものなのか、見極める必要がある。感染拡大が収束に向かったとき、どう原材料価格が変化するか、現時点で見通すことはできない。足元の原材料価格水準を前提に計画を立てなければならないだろう。

原材料価格が上がった分を価格に転嫁するだけではなく、高付加価値商品の販売拡大やコストリダクション(生産現場における省人化、自動化等)で利益を最大化することを考える。来期の最大の収益ドライバーは増収。

以上